

令和7年度 大船渡市防災観光交流センターアドバイザーボード 議事録

日時：令和8年1月14日（水）10：00～

場所：おおふなぼーと2階 多目的室

次 第	担 当	発 言 内 容 等
1 開会	事務局	皆様方には、何かとお忙しい中をご出席いただきまして、誠に感謝する。 ただいまから、大船渡市防災観光交流センターアドバイザーボードを開会させていただく。
2 あいさつ	事務局	はじめに、臂委員長の方からあいさつを頂戴する。
	臂委員長	みなさま、本年もよろしくお願ひする。今回のアドバイザーボードは、指定管理期間最後のものとなるが、時期も見据えながら、この指定管理期間の総括的な話を次第に沿って進めたいと思うのでよろしくお願ひする。
3 議 題(1) 【助言を求める 事項について】 指定管理者の戦略ロードマップ についてほか	事務局	それでは、これより次第3の「議題」に入らせていただく。 ここからは、委員長の方に議長を務めていただくので、よろしくお願ひする。
	臂委員長	では、次第に沿って進めていく。 まず議題（1）の「指定管理者の戦略ロードマップについて」から説明をお願ひする。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<指定管理者の戦略ロードマップについて説明。> 全体的に、最終目標にいかにつづいたかがポイントだと思うが、今回赤字で記載した部分が最終年度の実績として目指しているところである。 11月から実施しているアンケートや展示の回数は、まだとりまとめできていない部分もあるので、とりまとめ次第早急に情報提供させていただく。 「防災意識啓発」について、避難訓練の参加団体数は7団体ということで、簡単な指標ではあるがクリアできた。また、訓練を行うにあたり、実施するごとに必要であれば訓練の中身の見直しを行ってきたが、今回マニュアルの改訂はなかった。 最後の評価指標（役割の認知度）は、アンケートの実施期間が終わったばかりで、まだとりまとめできていないので後ほど共有する。 「情報発信手法の確立」について、最終目標の評価指標というところでは、令和7年度は、市民をはじめ、より多くの人に施設の役割が浸透し、防災意識の向上が図られていることを目的に事業を実施してきたが、実績としては、施設内への貼紙及びホームページへ

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		<p>の役割等の情報掲載というものを継続し、ホームページの更新については、12月18日現在、184回ということで、現時点で200回以上は更新している。指標についてもアンケートの結果待ちとなっているので、後ほどお伝えする。</p> <p>最後の「伝承活動」について、最終目標に達するための評価指標は、施設が防災を学ぶ場所として認識されるとともに、定期的な展示やイベント・訓練の実施により、利用者の防災意識の向上と合わせ、風化の防止が図られるということで指標を作っていたが、評価指標については、展示の回数は、防災に関わるものを1月14日時点で、現に9回となっているので、今後の3月の防災イベント等含めれば例年よりも少し増えるかなといったところである。3月には防災ウィークを実施する予定である。</p> <p>避難訓練につきましては、例年通り6月に防災訓練を実施した。</p> <p>「遺構・伝承施設間の連携」について、最終評価指数は、令和7年度に防災学習において広域の受入態勢が構築されていることを目標としてやってきた。それを受けて、今年度は、防災プログラムの活用、東日本大震災津波伝承館等、各施設の情報資料設置及びお客様への案内を行った。</p> <p>最後の「防災学習受入態勢整備」は令和7年度にはコーディネーターを確立するというので、道案内や、お客様への施設の案内を行える者が5人以上いるといったものを目指して行ってきた。基本的に日常の道案内や施設案内はもちろん行えるレベルにはあるので、プラスアルファで防災ウィークを実施して、お客様にも伝えていただいくという活動を続けていく。</p> <p>事業『観光情報発信及びまち歩きの拠点案内施設』について、アンケート調査による、観光案内所があることの認知度、それから満足度80パーセント以上を目標として行ってきた。この事業については、アンケートの集計待ちとなっているので、最終の評価指数のみ改めて説明させていただく。「視認性の向上」については、利用者の意見及び関係団体等の要望等と合わせ適宜調整ということで、お客様からのアンケートの意見や、例えば団体旅行客の添乗員からいただいた、こうした方がもっと見やすいですとか、そういった情報をいただいて、観光案内所のデザイン等を工夫してきた。</p> <p>「情報発信手法の確立」について、掲示物はそのまま継続してポスター及びパンフレット、タペストリーを掲示し、窓口での適切な対応やお客様への観光案内等、情報発信を行って来た。</p> <p>「周辺施設との連携」は、おおふなぼーとだけでなく、市内、市外の防災にかかる施設等と連携しながら、イベントや、かもめテラスの新商品情報など、細かなところから大きなイベントまで情報発信</p>

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		<p>に努めてきた。</p> <p>「マチナカ観光の造成」について、キャッセンさんでやられている「あの日」や、こちらでランチマップを活用した食のキャンペーンに取り組んできた。結果はアンケートの集計結果待ちである。</p> <p>事業『用務連携体制の濃い施設』について、令和7年度の最終評価指標は、防災、商業、観光に深く精通し、利用者への情報提供量の拡充と質の向上が図られていることである。令和7年度の実績の評価指標は、各種会議への継続参加、市の産業まつりや、この周辺で行われるもの、それから、ライダー割事業の新規実施ということで、10月に雨で中止にはなったが、昨年度は1000台ほど集まったイベントの実行委員会に参加してきた。</p> <p>情報発信では先月の時点で184回ということで、今は200回を超えている状況である。</p> <p>ホームページの閲覧数は、12月18日時点で46,613件ということで、現時点では49,000件ほどにはなっていると思うが、正確な数はまた改めてお伝えしたい。</p> <p>「既存および新規団体、新規関係団体との連携強化」について、最終目標は、各種イベント等への協力及び連携体制等が確立されているということで、令和7年度というよりも、ずっと継続してやるものと考えて取り組んできた。評価指標としては、各種実行委員会等への継続の参加、ライダー割事業の新規参加、大船渡駅周辺で開催されたイベント等への協力ということで、人的な協力、サンマ焼きやイベントの運営補助に努めていった。</p> <p>最後に、事業としては、『市民交流や地域づくりの場の創出施設』ということで、令和7年度アンケート調査による満足度は80パーセント以上、令和7年度の貸館稼働率が50パーセント以上、ホームページの閲覧数が毎年25,000件以上としていたが、現状の把握というところでは今年度は、アンケート調査項目及び各種事業内容の見直し等を行ってきた。</p> <p>アンケートについては、担当課の土地利用課やアドバイザーボードの委員の先生方に見ていただいて、修正したものを利用者の方に回答をお願いしていたところである。</p> <p>「施設の利用促進」について、アンケート結果を基にニーズに合わせた各種市民交流活動の展開ということで、お客様からいただいた生の声を今後もまた生かしていきたいと考えているし、今までもやってほしいといったものを、少しでもできるものから手をつけるようにはしていた。評価指標としては、102事業を市民交流事業としておはなしころりんさんをお願いし、やっていただく予定としていただいていたところである。</p>

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		<p>なお、貸館稼働率が 50 パーセントといったところは、現時点ブロック数で、全部のスタジオ、ピロティ、多目的広場、駐車場、使用回数が少ないものも含めると、全部で 718 ブロックあり、43.3%である。アドバイザーボードで使用回数が少ないものを抜いた数もというお話をいただいていたが、スタジオ 1・2、ピロティ、多目的広場、駐車場を除く稼働率は 57.4%となっている。会議室、和室、多目的室がメインにはなるが、そちらの方だと 50%を超えている状況である。現時点でのパーセンテージであり、3月までには数字が変わると思うので、最終的な報告はさせていただきたい。</p> <p>施設の PR については、今年度は施設の存在、役割、イベント等の情報発信継続ということで、ホームページ等に情報を掲載していたところである。評価指標としては、繰り返しになるが、情報発信が 184 回、ホームページのアクセス数は 46,613 件となっている。</p> <p>※資料</p>
	臂委員長	<p>本指定管理の期間の最終年度ということで、この結果はセルフモニタリングの結果として報告されるわけだが、最終的な総括のコメントはあった方がよい。例えば中間評価からの変化、前年度からの変化を比較して、その結果要因として、指定管理者の方で努力すれば目標値へ近づいていく部分や、外的要因で大きく変わるものもあるので、そのあたりを定性的な評価を含めて総括的な部分の最終的なとりまとめを行った方がよい。</p> <p>全体でも個別の部分でも、先生方から気になるところはあるか。</p>
	柴山委員	<p>先ほど委員長がおっしゃったように、総括は必要である。今回出した KPI の中で、目標が高かったのか、低かったのかを自己分析した方がよい。今回の目標に対してもっと低くすれば良かった、高くすれば良かったとか、目標に対して高すぎた、その理由は何なのかというのを調べるのは大事であるので、もしあれば教えていただきたい。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<p>個人的な所感ではあるが、全体としてはそこまで高い目標は設定していない。お客様がどう感じるかという部分では、満足度ということで 80%というのは、低くはないとは思いますが、それ以外については、例えば情報発信やホームページの閲覧数を上げるということでは、自分たちの努力次第で改善・向上できるものだと考えているので、そんなに高い目標ではなかったと思っている。</p>
	柴山委員	<p>もう少し高くすれば良かったとか、軽く目標を超えられるような形だったとか、最終的にはそう捉えているということなのか。</p>

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	観光物産協会 佐藤事務局次長	課題として思っていたところをこう改善していった方が良いのではないかという部分は、それほどハードルは高くなかったと思う。
	柴山委員	おはなしころりんさんとしてはどうか。
	おはなしころりん 江刺理事長	<p>目標の基準を定めるのがなかなか難しい。あまり高すぎるとやっていないようにも見えるし、あまり簡単にクリアしすぎるのも、何のための目標なのか分からなくなる。自分たちができるところよりも少し高めにして、自分たちの努力の気持ちを引き上げるという風な感じにするのが目標の定め方だと思う。</p> <p>今回はそれに合致していると思っていたので、自分の中で不自然なところはないと考えていた。</p>
	柴山委員	もっと高い目標にすれば良かった等はあるか。
	おはなしころりん 江刺理事長	<p>目標というよりも、例えば、交流事業は、数で測りがちだが、もう数は同じでも質を高める、これは見えにくいので、目標的にはこのままで、質の高さ、例えば共同してやるとか、どこかと組んでやるというところを広げていく、そのところで充実感や、今まで来れなかった人たちが来てみたくなるようにお誘いをしたり等あるので、その目標値をどのように定めていったら良いのか、そこは難しいなと思う。数字については少し手が届かないかもしれないけど、やってみるぐらいのトライする気持ちがあっても良いのかもしれないという気持ちはある。</p>
	柴山委員	<p>おそらく今は館全体のアンケートしかやっていないので、事業ごとや展示ごとでアンケートを行って行って満足度を聞くのも良かったのではないか。そのような形で質を高める、回数をこれ以上上げて満足度は高くないなら質を上げていくことに目を向けていった方が良いと思う。</p>
	北原副委員長	<p>目標値にどうしても左右されることが多い。これがあることによって、こういった活動があることによって、これができたということはカウントしにくいけど、評価としてやった方が良い。どういう出来事が起きているのか、細かいがこの期間中はこんな活動につながっていったなど、評価として記録した方が良い。当事者として、数は同じだけど明らかにこういうことが起きているんだと、固い言葉でなくて良いので、しっかり見てきたことを記述していくのが運営の評価である。アンケートの「その他」の部分で気づくことがある。アンケートはこちらが作ってるもの以上のものが出てくる。それはなかなか見つけにくいことだが、そういったものが本当の評</p>

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		<p>価の中ではすごく大事なポイントを指してくれている可能性は十分あって、それを見ることで質的に評価できると思う。</p> <p>今のこのやり方として、こういう風に行っているのは仕方ないが、その部分でこんなことが起きてるとちゃんと記述することによって、質が高まっている、あるいは逆に言うとそれほど高まってないとなるかもしれないが、冷静に判断して評価をしなければならない。KPIのような形の目標指標であった場合には、それに書けないこと、数値化できないことの中に、おおふなぼーとの色々な大事なミッションが含まれている気がするので、できるだけそれを傍で見ての方々の声として評価に加えることが大事である。数値でこんな感じでしたら終わってしまうと意味がないし、数値化できないことで評価すべきこと、現場の声として出していくことが、次のやり方に繋がっていくのではないかな。</p> <p>最初おっしゃっていたように、最終的な総括はしなければならない。ぜひそういったことをして欲しい。</p>
	臂委員長	<p>指定管理を経験されていて、管理の熟度が高まっていると思うが、例えば、周辺の事業者やエリアの方に、我々同様の説明をしていただいて、質の評価をしてもらうことは、これからの連携の在り方を考えていくためにやっても良いのではないかな。</p> <p>柴山先生がおっしゃっていたような事業を抽出して、その事業をみたときの質的評価を入れながら行うと良いと思う。</p>
	北原副委員長	<p>3月でなくても良いので、聞いてみるべきである。外からの目を意識していくのはプラスになる。今慌ててやらずしっかりまとめたものを持って行って、もう1個次に進みたいので、ぜひアドバイスをといった形でしていくというのは大事な機会になる。</p>
	柴山委員	<p>もうひとつ、全体としてアンケートについて、chatGPTに流して分析させるという方法がある。そうすると良いか悪いかというのがすぐ出てくる。有料版の方が良い。そうするとある程度、専門家でも、AIも使い方によっては良い方向になるので、使っていただきたい。</p>
	北原副委員長	<p>AIは冷静に分析してくれる。それと同時に、我々は目でしっかり読んで、同時に重ねていかなければならない。</p>
	柴山委員	<p>定性的にみるときに使うのがAIは良いかと思う。</p> <p>個別の話を見せていただくと、1番気になったのは、避難訓練の実施の団体が、6団体から7団体に上がったが、それも質と同じで、単なる団体数が増えただけではなくて、どういう団体が参加し</p>

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		たのか教えていただきたい。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	ここに従事してる団体だったり、掃除の方だったり、それから、シルバー人材センターの方と周辺施設のかもめテラスなどである。外にお声がけはしたが、かもめテラスさんのみの参加であった。あとは、いつも使っている利用者として社協さんに参加していただいた。今年プラスで参加した団体は、かもめテラスである。
	柴山委員	もし今後続けていき、訓練の質を上げていくとなった場合はどこと協力した方が良いのかと考えているか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	この周辺の田村スポーツさんとかプラザホテルさんとか、周辺の逃げる場所が同じところで同じ行動を取り、できるだけ同じ行動を取るといことで、周りの施設の方々に継続して声掛けしていきたいと思う。
	柴山委員	その中にキャッセンエリアは入らないのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	キャッセンさんの方にもお話はしているが、キャッセンさんは逃げる場所が別の加茂神社の方がある。
	柴山委員	<p>飲食店業界なども一緒に行わないと意味がない。ランチもやられてる方々もいらっしゃるし、うまい時間帯を選びながら一緒に行っていかなければならない。団体数を上げるだけでなく、質をもう少し向上していただきたい。</p> <p>あともう1つは、マニュアルの改訂がなしというところが少し気になる。カムチャッカ地震が起きたことと、この間起きた青森県の東方沖地震で、そこのところの反省点はおそらく0ではないと思うが、その上でマニュアルが改訂なしなのか、それともどうなのかというところは、しっかり分析をした方が良い。マニュアルの改訂なしというのは、こういうことができてから改訂がなしというのがあるのであればそれで良いが、青森とカムチャッカでは地震のパターンが違うので、どうなのか。</p> <p>どちらの地震かで、ここの屋上に逃げたというのがFace bookに上がっていた。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	避難誘導についての見直しがなかった部分はそうである。こことしては、注意報・警報が出たら、まずは逃げるより話をするのが第一で、ここを閉めるのが大前提で、閉めて、そこから誘導になるので、マニュアル自体の改訂はなかった。あと、逃げ遅れた人が屋上に行くというのは、そこについての対応が今回はなかったという意味でのマニュアル改訂なしである。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	柴山委員	そこはおはなしころりんさんにも1回話をしたのかしてないのかというのも重要だし、やはりこの中の利用施設の人たちが、PDCAサイクルの部分をしっかりやっていかないと、本当の災害の時に命を助けることができない。私たち災害系の専門家も、完璧だと思ったマニュアルも大分見直しをよくしているので、専門家が集まってですら難しい。改訂なしというのは不安しかない。なので、そこはもう一度しっかり確かめつつ、団体同士話し合っていていただいて、確認をしていただきたい。
	臂委員長	<p>商店街区の避難訓練については、例えば実施開催日を揃えることで参加させていただくこともできるかもしれない。異なる施設管理者ごとに感じたことなどをお互いに意見交換される方が良い。戻ったら事務所には伝える。</p> <p>キャッセンの避難マニュアルについては、昨年市の防災管理室に監修いただいて改定しているので、防災管理室の方へ相談してご指摘を受けるのも良いかもしれない。</p> <p>観光の部分ではいかがか。</p>
	北原副委員長	アンケートの中身が分からないので、早く見たいという気持ちがある。
	臂委員長尾	もし取りまとめの期間が短くて、なかなかしんどいのであれば、実施時期を少しずらす等、次は検討していただきたい。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	基本的に利用者が多くなる時期に多くの意見が欲しいということで、この時期に実施させていただいていたが、検討する。
	柴山委員	<p>伝承館の企画展について、陸前高田のものだけでなく、岩手県の伝承館は結構数があり、宮古も出来上がっているので、そのようなところと連携をもっとしながら、遠野では何を考えてるかとか、逆に言うと、一ノ関や平泉の水害関係とか、テーマごとに各施設だったり各団体と連携をしていただければと思う。県外までとは言わないが、まずは県内でやって欲しい。</p> <p>あと、今年は防災ウィークで何を行うのか教えていただきたい。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	例年であれば東日本大震災からということで、写真展示やピアノを使ったイベントを行うが、今年度は市の方からも要望があり、ちょうど山火事から1年ということで、そちらの方も写真や関係資料を展示させて欲しいという意見をいただいていたので、このコラボストーリーに写真展示等追加して行う予定である。
	柴山委員	防災ウィークはいつからいつまでか。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	観光物産協会 佐藤事務局次長	3月の1日から11日までである。
	柴山委員	おそらく3月だというのはあると思うが、土日をしっかり挟んだ方が良さ。今年の3月1日は日曜日なので、それであれば土曜日からやった方がいいのではないかと。林野火災に関して、実際の発災日は26日なので、そういうのをうまくちゃんと意識付けをすることで、乾燥注意報も確認しましょうねとか、写真展示だけでなく何か加えながら行ってそうしていただければ良いと思う。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	調整する。ありがとうございます。
	柴山委員	ここの館のパンフレットやホームページの改定は何回やられたか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	パンフレットは3回変えた。
	柴山委員	ホームページの大幅改修はされたか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	大幅改修はしていない。利用規約が変わったとか、市の公共施設の予約システムを入れたとか、細かい改修である。
	柴山委員	<p>ホームページは定期的に見直すべきである。8年間同じシステムをずっと使うのは結構長いスパンである。本来8年間のうちに1回は大幅に見直しして欲しかった。ホームページを改修すると施設が新しく見えるし、古いものをずっと使っているのは、もちろんコスト面では良いが、その中で新しさもないし、変わっていないように見えとてしまう。</p> <p>次のページの、ライダー割事業の新規実施はむしろすごく素晴らしいことではあるが、回数が増える、グレードがどんどん上がってく、しかも関係性が太くなれば太くなるほど、他の業務がおろそかになる場合もあるので、このライダー割というのはすごく簡便にできて、集客効果が上がったのか、それともそうではないのかというのを見極めていかないと、この事業として破綻しかねなくなってしまうし、指定管理者の業務以上になってしまう。いま、ライダー割はそれほど負担はないか。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	これ自体の負担は正直ない。市内の飲食店さんや宿泊施設に対して、ライダーで来た方に、何かサービスしてくださいねというところで取りまとめを行い、色々調整を図っただけである。クレーム等もそんなに上がってきているものでもない。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	柴山委員	<p>今後事業を増やすのに、外部の企画など、もちろん深く関わった方が良いところもあるが、そうではないものもあるので、そこを切り分けながらやっていかないと大変である。本末転倒にならないように、何かにウエイトがいかってしまうと、おろそかになってしまうのはよくある話なので、ぜひ注意して欲しい。やることに関して、関わることに関しては悪くはない。</p>
	臂委員長	<p>観光物産協会としての本来業務と指定管理業務を明確に切り分けるのは難しいが、たしかに本来業務でやるから指定管理業務にも関わるものとして広がっていったら、すごく大変であるので、意識してもらいたい。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<p>逆に言えば、それがうちの強みである部分もあるので、防災関係などそういったところも含めて、整理しながらやりたいと思う。</p>
	柴山委員	<p>最後のところで、施設 PR のホームページ閲覧数のやり方は変えたのか。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<p>やり方は変えた。</p>
	柴山委員	<p>1 番最後の評価指標のところで、途中で買えたというのを書いていただきたい。閲覧数が急激に上がったのか、それとも収集方法が変わったのかで、全く変わってしまう。ホームページ閲覧数に関しては令和 5 年から変えたと、細かいがそういう記載が欲しい。 ホームページの閲覧数は上がっていないということか。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<p>そのとおりである。</p>
	柴山委員	<p>先ほど言ったように、ホームページの改訂も頭打ちになっており、もう見る情報はないと逆に思われている可能性が高い。SNS で足りているのかもしれないが、ホームページの役割があまり果たされていないふうに見えてしまう。 あと、Google アナリティクスだと滞在時間もわかるので、滞在時間を分析して、離脱率が早いとなると、基本的にはもうこのホームページは施設予約だけしか見ていないなど、過去と比較してどうなのかという分析はした方が良い。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<p>周知だが、その予約ページがどのぐらい見られてるのかという数を取りたいと思っていたし、それに対するアンケートの項目がありますので、その回答を確認しながら進めていく。</p>

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	臂委員長	実際にアナリティクスデータを見たときに、ユーザー数はどのような感じか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	確認する。
	柴山委員	<p>こういう情報発信回数が増えてるのに、ホームページで閲覧数が増えてないのが気になるユーザー数は、固定客が増えているのか、それとも新規客が増えているのか分かるので、分析して欲しい。</p> <p>以前、新聞掲載件数を調べてほしいと言った気がするが、調べたか。東海新報さんに、「おおふなぼーと」という名前が何回載りましたかと直で聞いていただいても良い。</p>
	臂委員長	Google の検索結果のニュース欄でおおふなぼーとの記事を調べたりもできると以前お願いした。
	柴山委員	市役所ではウェブで岩手日報等閲覧できるのか。
	土地利用課 鎌田主事	紙のみである。
	柴山委員	<p>もし図書館で、ウェブで契約されてるものだったら検索できるので、大船渡図書館に行っていていただいて検索をするのも良い。私もいつも調べる時には大手新聞社と、河北新報はその大学の中で自由に使っているの、それで件数を数えている。</p> <p>あとは、口コミがあまり変わってなく、新しいものがない。Google の口コミはコメントされているか。かもめテラスさんは1300 件ほどあるのに、おおふなぼーとは口コミ数が少ない。かもめテラスさんとかに、パンフレット等置かせてもらったりしているのか。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	置いている。マップなどは、この辺りの施設には配布していた。
	柴山委員	もっとおおふなぼーとに来て欲しいと、色々やっていただければと思う。
	臂委員長	<p>ほかはよろしいか。</p> <p>次の議題について、観光物産協会の方から説明をお願いします。</p>
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<施設利用上のトラブルの対応について説明。>
	柴山委員	注意書きだけでなく、施設改善を行うのも良いのではないかと。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		<p>ーヒーをひいて良い香りをつくったり、部屋を貸し切りにして寺子屋をつくったりなど、良いチャレンジだと思っていただきたい。</p> <p>申請書と違うことを行っている利用者については、規約に基づきやめさせることもできる。新規利用者の場合は申請書を1か月前に提出させるなど、工夫したらどうか。</p>
	北原副委員長	<p>たくさんの利用者と長く付き合っていくためには、専門家から意見を聞くのも良い。</p> <p>音については規約で律して明らかに迷惑行為であることを認識させるべきである。ルールで規制すべきことはした方が良い。理不尽なことではない。</p> <p>性善説で運用すべきだと思うが、そうでない人もいることを理解すべきである。規約をもう少し丁寧に書き、厳しくすべきところについては確認すべきである。</p>
	臂委員長	<p>新規の利用に関しては、どのような団体なのかしっかり調べた方がいい。申請時に具体的に聞き取りを行うべきである。判断に迷う場合は、市の方に相談して行っていただきたい。</p>
3 議 事(2) 【その他】	臂委員長	<p>以上で、議事（1）が終わりました、（2）のその他は何かあるか。ここで議事を閉じさせていただく。</p>
4 そ の 他	事務局	<p>それでは、次第4の「その他」に移りたい。</p> <p>皆様から、何かあるか。</p>
5 閉 会	事務局	<p>ないようなので、これをもって、大船渡市防災観光交流センターアドバイザーボードを閉会させていただく。</p> <p>委員の皆様、大変ありがとうございました。</p>